

# 保育所等利用待機児童ゼロ

## 4月1日時点、待機児童ゼロに

26日の民生文教委員会に、「令和4年度保育所等利用待機児童数について」という報告がありました。

4月1日時点で、待機児童はゼロとなったということです。

待機児童数が県下で最も多い時もあり、この解消は、市の最重要課題となっていました。下表のようにここ数年取り組みが強化されてきましたが、昨年まで解消には至りませんでした。

歳児別待機児童数 (4月1日時点)  
単位は 人

	H30	H31	R2	R3	R4
5歳児	0	0	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0
3歳児	1	5	2	2	0
2歳児	6	7	14	0	0
1歳児	18	44	16	0	0
0歳児	3	2	1	0	0
合計	28	58	33	2	0

## 163人の定員増

先日の「民報ふくろい」(3月25日号)で、子育てセンター「にじいろ」の完成と紹介をしました。

袋井南保育所・袋井南幼稚園・高南幼稚園の3園の統合によるこの「にじいろ」(28人増)

と、山梨幼稚園及び若草幼稚園の認定こども園への移行(135人増)により、163人の定員を増やしま

定員数の推移 単位は 人

	H31	R2	R3	R4
5歳児	298	305	351	394
4歳児	295	301	347	391
3歳児	290	298	344	380
2歳児	266	304	371	394
1歳児	256	292	358	360
0歳児	153	162	193	208
合計	1558	1662	1964	2127

した。これにより市全体の利用定員が2127人となったことが、待機児童解消の大きな要因となりました。

## さらなる取り組みが必要

待機児童ゼロといっても、保育所を申し込んだ人が全員入所できたということではありません。国が定義した待機児童数はゼロということです。

国の定義で待機児童数に計算されない児童数(潜在的待機児童数)は105人で、内訳は、認可外保育施設への入所15人、幼稚園預かり保育利用16人、保護者が育休中6人、特定園のみの希望者68人となっています。

また、下表をご覧ください。乳幼児人口は減少しています。

それに伴い0～2歳児入所申込者数は減少傾向となりました。しかしながら、3～5歳児の申込者数は増えています。

これは、幼稚園ではなく保育所への入所を希望される方が増える傾向が続いているということです。幼稚園入園率は、平成30年63.5%、平成31年61.2%、令

和2年57.4%、令和3年53.1%、令和4年47.3%と減少しています。

市では、公立幼稚園の認定こども園化などを進める検討をしています。浅羽北幼稚園は来年4月認定こども園に移行の予定です。

乳幼児人口の推移 単位は 人

	H31	R2	R3	R4
5歳児	846	869	837	762
4歳児	876	832	768	828
3歳児	833	775	830	785
2歳児	797	835	790	740
1歳児	851	802	742	685
0歳児	796	726	671	660
合計	4999	4839	4638	4460

申込者数の推移 単位は 人

	H31	R2	R3	R4
5歳児	274	292	326	342
4歳児	293	317	329	398
3歳児	313	339	385	410
2歳児	331	405	403	370
1歳児	382	381	388	348
0歳児	88	128	98	93
合計	1681	1862	1929	1961

「しんぶん赤旗」を、ご購入ください。

お申し込みは

竹村真弓

☎42-9317まで